

教 育 委 員 会 だ よ り

発表者（奨励賞受賞者）一覧

「がんばった発表会」
中川 ここみ（上ノ国小5年）
「学校がかわった」
石澤 大翔（滝 沢 小5年）
「劇をふり返って」
久末 愛夏（河 北 小5年）
「思い出に残った学習発表会」
村上 莉子（上ノ国小5年）
「児童会長の経験」
若狭 瑠菜（河 北 小6年）
「6年間続けてきたバレーボール」
疋田 友碧（上ノ国小6年）
「統合して」
宮城 真衣（河 北 小6年）
「野球少年団とぼく」
小林 虹聖（滝 沢 小6年）
「最後の劇」
菊地 薫子（上ノ国小6年）
「バレーボールをはじめて」
疋田 夢奈（滝 沢 小6年）



落ち着いた様子で堂々と発表した6年生6名

最初に滝沢小学校児童会長の古館希和さんから「いじめをなくす児童会の取り組み」が報告されました。続いて各小学校の5・6年生10名が、小学校が統合

しています。始めに滝沢小学校児童会長の古館希和さんから「いじめをなくす児童会の取り組み」が報告されました。続いて各小学校の5・6年生10名が、小学校が統合

自分の体験を堂々と発表

小学校体験作文発表会が行われる

11月27日、今年で22回目となる上ノ国町学校教育研

究会主催による小学校体験作文発表会がジョイ・じょぐらにて行われました。



緊張しながらも頑張って発表した5年生4名

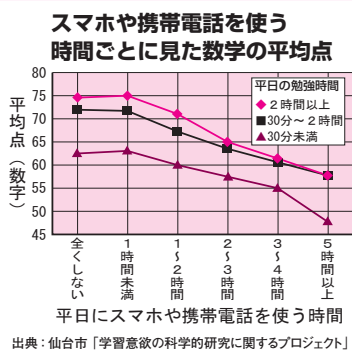
したことによる心境や学校生活の変化、スポーツ少年団での活動を通して体験したことや学んだことなどをしっかりとした口調で発表すると、訪れた児童や保護者からは大きな拍手が送られたほか、終了後には、発表者全員に奨励賞が贈られました。

自分の体験、気持ちを大勢の聴衆の前に発表することとはとても緊張することですが、それを乗り越えたことは、児童にとっては貴重な経験、自信になったのではないのでしょうか。

勉強時間が長くても…
スマホを長時間使うと成績が落ちるのはなぜか！

「スマホの使いすぎは学習効果を打ち消す」これは、「脳トレ」ゲームを開発した東北大学の川島隆太教授らが、平成25年度に仙台市の中学生2万4千名に対して行われた学力、学習状況調査を分析した結果、判明しました。

スマホの長時間の使用で
成績悪化



右の図はスマホなどを使う時間ごとに見た数学の平均点を比較したもので、「勉強は30分未満でもスマホなどの使用が1時間未満」の生徒のほうが「2時間以上勉強するもスマホなどを4時間以上を使う」生徒より平均点が高い結果

平成27年度小中学生携帯スマホ所持率(町教委調)

学年	小4	小5	小6	中1	中2	中3
所持率(%)	26	37	40	48	78	60

町内小中学生の
携帯・スマホの所有率は？

町内小中学生の携帯・スマホの所有率は上表のように学年が進むにつれて増えていきます。一方、スマホなどへの利用は小学生で64%、中学生で58%にとどまっています。

川島教授は「中毒的にスマホをいじっている子どもたちの問題は、大人のギャングブル依存より深刻になりつつある。」と警報を発しています。

読んでも理解力が低下するというデータもあります。

時間がゲームをした後に本を